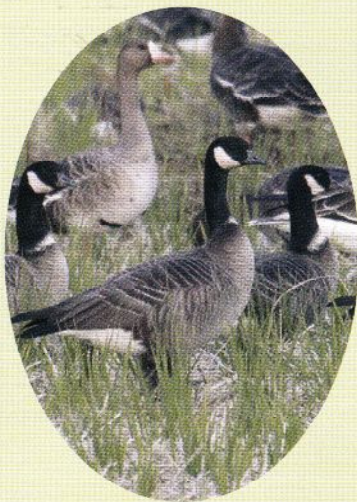


見かけは似ていても、異なる種なのです。

希少亜種シジュウカラガンとカナダガン

国内にはカナダガンと近縁の希少な亜種シジュウカラガンがいます。シジュウカラガンは、カナダガンより小型のガンで、北千島から日本に渡ってくる冬鳥です。

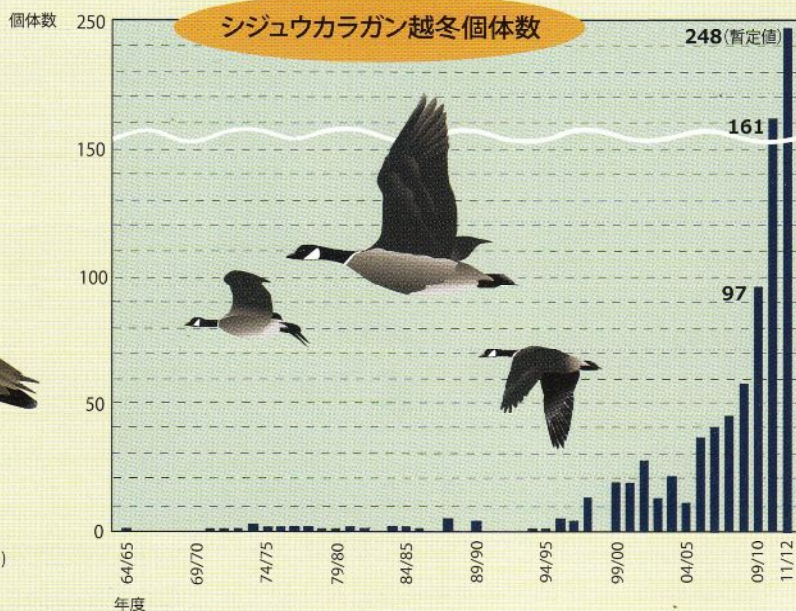
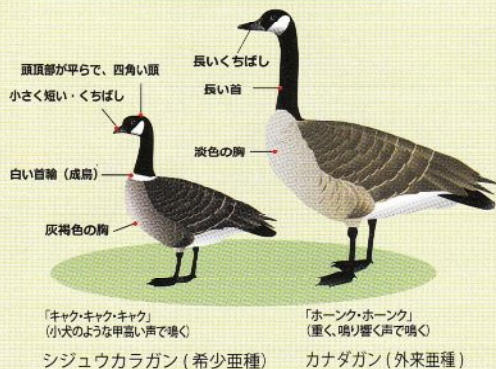
人間が毛皮用のキツネを繁殖地に放したために激減し、一時は絶滅したとされていました。その後、奇跡的にわずかな個体の生存が確認され保護増殖につながりました。



シジュウカラガン羽数回復計画

日本国内でシジュウカラガンの羽数を増やす試みが 1983 年に仙台市八木山動物公園と日本雁を保護する会との間で始まりました。この回復計画にロシア科学アカデミーが加わり、1992年より日・米・露の共同事業として本格化しました。同年、10月カムチャツカに増殖施設が完成し、アメリカ及び八木山動物公園から繁殖用の種鳥が届きました。この増殖施設で生まれたシジュウカラガンをかつての繁殖地である北千島のエカルマ島まで運び、1995年から2010年にかけて、のべ13回、551羽を放鳥した結果、2011年の冬、日本への飛来数がついに100羽を超えました！

シジュウカラガンとカナダガンの見かけの違い



このパンフレットでは、大型の外来亜種をカナダガン、希少な在来亜種をシジュウカラガンと書いています。カナダガンはオオカナダガンの可能性があります、まだ確定されていません。

カナダガンの問題は、被害を受けている人だけの問題ではありません。

地域の自然をどのように描き、未来に向けて保全するのが問われています。

私たち一人一人が今、できることを考えたり、行動することが自然をまもる大きな力になります。

●カナダガン調査グループ及び協力団体

NPO法人神奈川県自然保護協会、日本野鳥の会神奈川、かながわ野生動物サポートネットワーク、神奈川県立生命の星・地球博物館、地域自然財産研究所、日本野鳥の会富士山麓、日本野鳥の会南富士、日本雁を保護する会、雁の里親友の会、おとも自然の会、尾浦の自然を守る会、福島潟野鳥の会、鴨池観察親友の会、湖北野鳥センター

●お問い合わせ先 ※カナダガン調査グループ

※神奈川県立生命の星・地球博物館(加藤) Tel 0465-21-1515 FAX0465-23-8846 Mail: katoy@nh.kanagawa-museum.jp

※日本野鳥の会神奈川支部(石井) FAX045-844-1303 Mail: GZH02213@nifty.ne.jp

※かながわ野生動物サポートネットワーク(葉山) TEL/FAX0463-93-6589 Mail: pcv@nifty.com

地域自然財産研究所(篠田) TEL0554-45-4001 FAX0554-45-1964, Mail: bufo@mx5.ttcn.ne.jp

写真協力: 石井 隆・篠田授樹・葉山久世・若見正幸 イラスト: 葉山 溪・幕田晶子

このパンフレットは、「シジュウカラガン2亜種の分布調査と野外での適正管理に関する活動」として平成23年度セブンイレブン記念財団広域連携促進助成を受け作成しました。